



BBS

Instruction Manual



このたびはBBS鍛造ホイールを

お買い上げいただきありがとうございました。

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、
記載された内容に従って正しく装着し、ご使用ください。

◎BBS鍛造ホイール取り付け前のご注意

箱の中身をご確認ください。

タイヤを組まれる前に商品の外観及び装着車とのマッチングをご確認ください。併せてサイズ・カラー・PCDに間違いがないかもご確認ください。もしも、破損していたり、不足していた場合は、直ちに販売店にご連絡をお願い致します。

ご使用にあたって

BBS鍛造ホイールは「自動車用軽合金製ディスクホイールの技術基準（JWL）」に適合し、更に「自動車用軽合金製ホイール試験協議会」の厳正なテストに合格し、※VIAマークを与えられていますが、一般に自動車が行かない場所での走行、レース・ラリーなどの使用限度を超える酷使及び違法改造での使用により発生した事故やホイールの変形、亀裂につきましては法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任、保証を負いませんので予めご了承ください。

※FI-R、FI-R Evo、FLはVIAマークの対象外となっております。

Index

1	ホイール取り付け前の準備	P4
2	ホイール取り付け時の注意	P7
3	ホイール取り付け後の注意	P8
4	ホイール使用上の注意	P9
5	マグネシウム鍛造ホイール（警告・注意事項）	P11

**文頭のマークの意味は次の通りです。
必ずお守りください。**



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷事故を起こす可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、事故を起こす可能性、または物的障害の発生が想定される内容を示しています。

1 ホイール取り付け前の準備



1 ホイール、タイヤの選定

装着車輛に適合しないホイール及びホイールサイズに適合しないタイヤは、絶対に使用しないでください。販売店にご相談のうえ、必ず装着車輛に適合するホイール、タイヤを選定してください。



2 ボルト・ナットの確認

ホイールナットもしくはボルトは、BBSホイールの純正品を必ずご使用ください。(PORSCHE等は純正ボルト使用)

BBSホイールに不適合なナット、ボルトを使用すると、ホイール取り付けが不良となり、ホイールの破損事故を起こす危険があります。



3 エアーバルブの組み込み

ホイール付属のBBS純正エアーバルブをご使用ください。BBS純正エアーバルブの指定締め付けトルクは下記のとおりです。

アルミエアーバルブ ブラック (P5615017)	4±0.6 N・m
上記以外のエアーバルブ	2±0.5 N・m

規格外のエアーバルブを使用すると空気漏れを起こし、タイヤ、ホイールの破損事故を起こす危険があります。

電食が発生するため、黄銅製とアルミニウム合金製のエアーバルブ・バルブキャップを組み合わせて使用しないでください。



4 空気漏れがないことの確認

タイヤ組み込み後は、空気漏れがないことを必ず確認してください。全輪ともタイヤ空気圧を正常にし、ホイールバランスを正しく調整してください。



5 リバース形状ホイールについて

リバース形状ホイールのタイヤ組み込みについては、インナーリムを上側にしてインナーリムから組み込んでください。その場合、アウターリムのダメージを防ぐために、タイヤチェンジャーのホイールクランパーは、プラスチック製のものをご使用ください。



6 ハブリング使用について

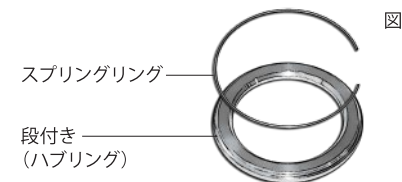
取り付けハブ部にハブリングを使用するタイプのホイールについては、取り付けハブ部にハブリングを取り付けることによって、複数の車種に適合できるようにしてあります。詳細は、当社ホームページに掲載している「ハブリング(アダプターリング)取り付け方法」を参照してください。または、販売店でご確認のうえ、車輛に適合するハブリングを選定してください。

ハブリングは下記の手順で取り付けてください。

- ① ホイールを安定した台の上に、車輛に取り付ける面を上にして置いてください。
(図1参照)

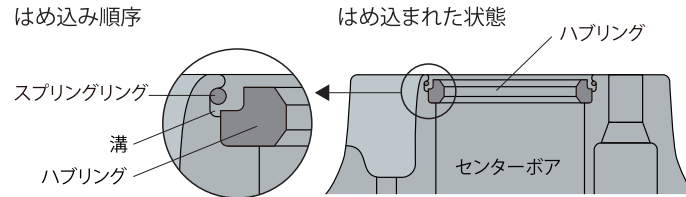


- ② 車輛に適合するハブリングを、図2のように段付き部分(外周部)を上にして、センターボアにはめ込んでください。



2 ホイール取り付け時の注意

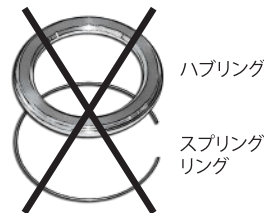
- ③ 次に、付属のスプリングリングを、取り付けハブ部の溝の奥まではめ込んで、ハブリングを固定してください。



- ④ ハブリングの段付き部分(外周部)を下にしてはめ込まないでください。このように取り付けると、スプリングリングによるハブリングの固定ができなくなり非常に危険です。



- ⑤ スプリングリングを取り付けハブ部に先にはめ込んでから、ハブリングをはめ込まないでください。このように取り付けると、スプリングリングによるハブリングの固定ができなくなり、さらにハブリングがホイール面よりはみ出ることで非常に危険です。



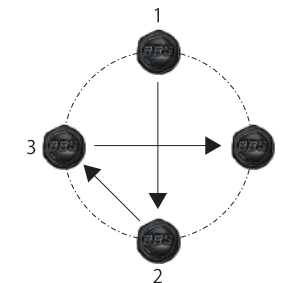
- 1 ホイールのハブ面(取り付け面)と車軸のホイール取り付け面の汚れをとり除いてください。

ホイール取り付け用ボルト・ナットには、油、潤滑剤等を絶対に使用しないでください。

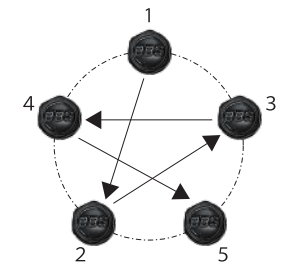
取り付け部に汚れ、異物及び油が付着しているとホイールの緩みの原因となります。



- 2 ホイールナットまたはボルトの締め付けは、下図の順序で少しずつ締め付けてください。



ホイール取り付け穴:4穴
ナット・ボルトの締め付け順序



ホイール取り付け穴:5穴
ナット・ボルトの締め付け順序

締め付けトルクは下記、または車両の規定に従ってください。

M12	ボルト・ナットの場合	110N・m
M14	ボルト・ナットで乗用車の場合	130N・m
M14	ボルト・ナットでSUV 車の場合	150N・m

BBSホイールに同梱されているナットの六角ヘッドの対辺寸法は21mmです。スバル、ホンダ、スズキ専用の純正ナット対辺寸法は主に19mmですので、それらの車輛に純正付属されている車載工具はBBSホイールナットには使用できませんのでご注意ください。



3 ホイール取り付け後の注意



3 センターキャップの取り付け、取り外し (SUPER-RS)

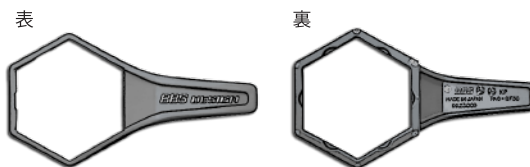
ホイールに六角センターキャップを取り付ける場合は、センターキャップのネジ部を、ホイールのセンター穴ネジ部に差し込み、時計回り(右)方向に回してください。最後に六角キャップに専用レンチを合わせて、時計回り(右)方向に回して締め付けてください。この時の締め付けトルクは下記です。

センターキャップ締め付けトルク	約25N・m
-----------------	--------

なお、このトルクは専用レンチのハンドル部に約200Nの力を加えて回すことに相当します。

センターキャップを取り外す場合は、専用レンチを反時計回り(左)方向に回してください。

専用レンチ



1 車輻に取り付け後、ホイールが車体、サスペンション部品等と接触していないことを確認してください。前輪はステアリングホイールを左右いっぱいにかけて確認してください。



2 タイヤ、ホイールが車体からはみ出ることは危険であり、法令で禁止されています。

4 ホイール使用上の注意



1 取り付け初期や位置交換後は、取り付けナットやボルトが緩みやすいので、約100km走行後、推奨トルクで増し締めをしてください。また、日常点検時に、緩みがないか点検してください。



2 スペアタイヤで使用の際は、その車輻メーカー純正ナットまたはボルトを使用して取り付けてください。
BBS鍛造ホイール以外のスペアタイヤのホイールには、BBS純正ナット、ボルトは適合せず、締め付けできないか、または締め付け不十分となり、事故の原因となりますので使用しないでください。



3 2ピースの組み立て式ホイールは、BBS純正のリムボルトを使用して、メーカーの規定トルクで締め付けています。

一般のリムボルトを使用することは、強度不足、耐久力の欠如になりますので、絶対に避けてください。また、増し締めや緩めたりすることは、ボルトの劣化、結合の緩みにつながりますので、絶対に避けてください。リムボルトの緩みが生じた場合は、直ちに使用を中止して、販売店にご相談ください。



4 金属製タイヤチェーンは、ホイールを傷つけますので使用しないでください。

5 道路の縁石や凹凸部への乗り上げは、ホイールを傷つけやすいので注意してください。

5 マグネシウム鍛造ホイール(警告・注意事項)



6 アルミニウム合金は、塩分や凍結防止剤などが付着すると腐食しやすいので、海辺や雪道、悪路などの走行後は水洗いをしてください。

7 お手入れは中性洗剤をご使用ください。
市販のホイールクリーナーを使用する場合は、説明書をよく確認の上、酸性やアルカリ性のもの、研磨材を含むものは使用しないでください。また、メッキ用ホイールクリーナー、鉄粉除去剤は使用しないでください。

8 高速洗車機等による洗車はホイールに傷がつきやすいので避けてください。



9 変形したり亀裂が生じたホイールを、修理業者やお客様自身により修理、加工することは絶対に行わないでください。変形、亀裂が生じた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店にご相談ください。



10 走行中に異常振動や異常音を感じたら、直ちに安全な場所に停車し、ナットの緩みやホイールの変形、タイヤの状態などを点検してください。



11 走行前にタイヤの空気圧点検を必ず実施してください。



12 タイヤの交換時にはエアバルブの劣化がないか確認してください。

マグネシウム合金の比重はアルミニウム合金の約2/3と非常に軽く、強度も高い優れた材料である一方、アルミニウム合金に比べ腐食しやすい合金です。

BBSマグネシウム鍛造ホイールには特殊な耐食皮膜処理を施していますので、アルミニウム鍛造ホイールと同等の塗膜性能を有しておりますが、その皮膜が損傷などにより破壊されて金属表面が剥き出しになりますと、アルミニウム鍛造ホイールに比べ腐食が速く進行します。

本製品のご使用の前に、本書における警告・注意事項(P4～P11)に加えて、以下に記載された内容にも従って正しくご使用ください。



1 エアバルブの組み込み

ホイール付属のBBS 純正アルミニウム合金エアバルブをご使用ください。他のエアバルブの使用は、ホイールの腐食の原因となり危険です。

なお、BBS 純正アルミニウム合金エアバルブの締め付けトルクについては、本書1項-3を参照ください。



2 ホイールを洗浄する場合は、布きれなどのやわらかいものを使用して真水で洗い、その後乾いた布で拭き取ってください。ブラシの使用、特に高速洗浄機による洗浄は、ホイール表面の耐食皮膜を傷つけることになり危険です。



3 1か月に1回以上はホイールを洗浄し、傷の発生及び異常がないかホイール全体にわたって点検してください。もし、傷の発生や異常が認められる場合は、必ず販売店にご相談ください。

BBSジャパン株式会社

東京本社 〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルA館12F
アフター営業窓口:TEL.03-6402-3957 FAX.03-6402-3038

www.bbs-japan.co.jp